

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場会社名 ITホールディングス株式会社  
 コード番号 3626 URL <http://www.itholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 晋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 浦田 幸夫  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

上場取引所 東

TEL 03-6738-7557

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	163,426	—	9,400	—	9,479	—	4,491	—
20年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	52.97	52.94
20年3月期第2四半期	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	283,173	—	142,553	—	45.0	—	1,498.39	
20年3月期	—	—	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 127,417百万円 20年3月期 —百万円

(注) 当社は平成20年4月1日に、TIS株式会社と株式会社インテックホールディングスとの経営統合による共同持株会社として設立しました。従いまして、前年同四半期及び前期の実績は記載しておりません。

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	—	22,000	—	22,000	—	11,000	—	129.53

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
 ② ①以外の変更 無

## (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 86,372,339株 20年3月期 —株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,335,860株 20年3月期 —株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 84,805,595株 20年3月期第2四半期 —株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、サブプライム住宅ローン問題に端を発した米国発の金融危機や急速な世界経済の悪化などの影響により、実需減少に対する懸念が強まり、企業の業況判断が一段と慎重さを増すなど、景気の減速度合いや先行き不透明感がさらに深まる状況が続きました。

情報サービス産業では、日銀短観（平成20年9月調査）において、ソフトウェア投資額が引き続き前年度を上回る見通しとなっておりますが、最近の景気動向や企業収益の減少傾向を受けて投資抑制の動きが強まっていることから、今後の情報サービス産業を取り巻く経営環境は厳しい状況を見込んでおります。

このような状況の中で、平成20年4月1日にT I S株式会社と株式会社インテックホールディングスとの経営統合による共同持株会社として設立した当社は、当連結会計年度をグループの基盤を整備する年度と位置付け、グループの中長期的な成長のための重点施策として①第1次中期経営計画の策定、②グループ事業シナジーの推進、③バックオフィス業務のシェアード化推進、④グループフォーメーションの整備、⑤情報システムの統合に鋭意取り組んでいます。また、グループ各社の間では、情報連携も円滑に進んでおり、多くの商談が動き始めた成果が共同受注などで表れてきています。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、厳しい事業環境下で業績の伸び悩み子会社もありましたが、主要顧客のIT投資ニーズを的確に捉えた事業展開により好調に推移した子会社が牽引したことから、グループ全体としては期初計画を上回ることとなりました。T I S株式会社において、過年度より継続中の大型案件（注）については、本年内の稼働開始を控えた最終段階にあり、システムのより円滑な稼働開始に向けて細部にわたる準備を行うなど、計画に沿って順調に進捗しております。

（注）当該大型案件は開発段階が終了し、11月にシステムは順調に稼働開始しております。

上記の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高163,426百万円、営業利益9,400百万円、経常利益9,479百万円、四半期純利益4,491百万円となりました。

分野別の業績は次のとおりであります。

#### ①アウトソーシング・ネットワーク分野

当分野では、データセンタを活用して受託運用サービスやシステムオペレーション、ネットワーク構築などのサービスを提供しています。当第2四半期連結累計期間の売上高は、主要顧客向けの売上が増加したこと及び平成20年7月に子会社化した株式会社ネクスウェイの業績が寄与したことなどから、60,793百万円となりました。

#### ②ソフトウェア開発分野

当分野では、情報システムの企画から構築まで、総合的なシステムインテグレーションサービスを提供しています。当第2四半期連結累計期間の売上高は、大型案件に係る売上が計上されたほか、新規案件の寄与があったことなどから、82,001百万円となりました。

#### ③ソリューション分野

当分野では、ソフトウェア及び機器の販売を主業としています。当第2四半期連結累計期間の売上高は、大口顧客の更新需要が一服したことなどから、14,913百万円となりました。

#### ④その他の分野

当分野は、リースなど情報システムを提供するうえでの付随的なサービスで構成されます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、5,717百万円となりました。

なお、当社は、平成20年8月11日開催の取締役会において、当社グループにおけるグループ経営の一層の強化と効率化を図る観点からグループフォーメーションを整備するため、T I S株式会社の保有する株式会社ユーフィット、株式会社アグレックス、クオリカ株式会社、A J S株式会社、株式会社エス・イー・ラボ、T I S トータルサービス株式会社、T I S リース株式会社、B M コンサルタンツ株式会社、およびT I S ソリューションビジネス株式会社の全株式について、当社を承継会社とする吸収分割を決議し、同日付で吸収分割契約書を締結いたしました。当該吸収分割契約書に基づき、平成20年10月1日に実行し、上記9社を当社の直接の子会社としました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、283,181百万円となりました。このうち、流動資産は118,592百万円、固定資産は164,580百万円となりました。一方、負債は140,620百万円、純資産は142,553百万円となり、純資産のうち少数株主持分は15,127百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は厳しさを増していくと考えておりますが、このような状況の中においても、当社グループでは引き続き着実な事業展開を推進しており、現時点で平成20年5月15日に発表した業績予想の変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が当期首に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、当期首の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法を採用しております。

#### ②棚卸資産の評価方法

一部の連結子会社は、棚卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

一部の連結子会社は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、当期首以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、当期首において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
 (平成20年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	25,338
受取手形及び売掛金	56,530
有価証券	2,468
商品及び製品	2,732
仕掛品	15,091
原材料及び貯蔵品	180
繰延税金資産	10,646
その他	5,741
貸倒引当金	△136
流動資産合計	118,592
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	51,491
機械装置及び運搬具（純額）	5,120
土地	22,253
貸与資産（純額）	3,352
その他（純額）	7,125
有形固定資産合計	89,344
無形固定資産	
のれん	5,022
その他	12,641
無形固定資産合計	17,663
投資その他の資産	
投資有価証券	30,884
繰延税金資産	8,941
前払年金費用	2,833
差入保証金	10,049
その他	7,490
貸倒引当金	△2,627
投資その他の資産合計	57,572
固定資産合計	164,580
資産合計	283,173

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成20年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	17,379
短期借入金	23,780
1年内償還予定の社債	8,150
未払法人税等	2,627
賞与引当金	7,408
その他の引当金	27
その他	18,122
流動負債合計	77,494
固定負債	
社債	15,500
長期借入金	34,983
退職給付引当金	7,719
役員退職慰労引当金	215
繰延税金負債	971
再評価に係る繰延税金負債	1,064
その他	2,669
固定負債合計	63,125
負債合計	140,620
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	86,322
利益剰余金	36,352
自己株式	△2,353
株主資本合計	130,320
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	48
土地再評価差額金	△2,922
為替換算調整勘定	△28
評価・換算差額等合計	△2,903
新株予約権	8
少数株主持分	15,127
純資産合計	142,553
負債純資産合計	283,173

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	163,426
売上原価	133,812
売上総利益	29,614
販売費及び一般管理費	20,213
営業利益	9,400
営業外収益	
受取利息	36
受取配当金	386
負ののれん償却額	478
その他	300
営業外収益合計	1,202
営業外費用	
支払利息	560
持分法による投資損失	40
創立費	110
その他	411
営業外費用合計	1,123
経常利益	9,479
特別利益	
投資有価証券売却益	8
子会社清算益	20
貸倒引当金戻入額	31
その他	29
特別利益合計	89
特別損失	
固定資産除却損	173
投資有価証券評価損	307
その他	330
特別損失合計	811
税金等調整前四半期純利益	8,757
法人税、住民税及び事業税	2,407
法人税等調整額	1,128
法人税等合計	3,536
少数株主利益	729
四半期純利益	4,491

「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

当社は、平成20年4月1日にT I S株式会社と株式会社インテックホールディングスとの共同株式移転により設立されたため、前年同四半期に係る財務諸表については記載しておりません。

## 中間連結損益計算書

科目	T I S(株) (連結) 前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	(株)インテックホールディングス (連結) 前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
I 売上高	95,592	56,686
II 売上原価	83,793	47,474
売上総利益	11,799	9,211
III 販売費及び一般管理費	12,876	5,581
営業利益又は営業損失(△)	△1,077	3,630
IV 営業外収益	967	350
V 営業外費用	530	776
経常利益又は経常損失(△)	△640	3,203
VI 特別利益	60	92
VII 特別損失	635	5,681
税金等調整前中間純損失	△1,214	△2,385
法人税・住民税及び事業税	2,858	1,463
法人税等調整額	△3,431	△6,388
少数株主利益(△)	△659	△41
中間純利益又は純損失(△)	△1,300	2,498